

．結果の要約

1．出生数は減少（戦後最低）

出生数は7,835人で、前年の8,153人よりも318人減少した。
出生率（人口千対）は7.6で前年の7.8を下回った。
合計特殊出生率は1.32で前年の1.28を上回った。

2．死亡数は増加

死亡数は11,251人で、前年の10,600人より651人増加した。
死亡率（人口千対）は10.9で前年の10.1を上回った。
死因別に見ると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ29.0%、17.7%、10.5%となっている。

3．自然増加数は減少（戦後最低）

出生と死亡の差である自然増加数は - 3,416人で、前年の - 2,447人より969人減少した。
自然増加率（人口千対）は - 3.3で前年の - 2.3を下回った。
平成10年以降は、毎年死亡数が出生数を上回っている。

4．死産数は減少

死産数は239胎で、前年の252胎より13減少した。
死産率（出産千対）は29.6で、前年の30.0を下回った。

5．婚姻件数は減少（戦後最低）

婚姻件数は4,956組で、前年の5,005組より49組減少した。
婚姻率（人口千対）は4.8で前年と同率となっている。

6．離婚件数は減少

離婚件数は2,181組で、前年の2,415組より234組減少した。
離婚率（人口千対）は2.12で前年の2.31を下回った。